



もつと知りたい！ 歌舞伎の世界展



前期 2015

12/14(Mon)–12/25(Fri)

後期 2016

01/06(Wed)–01/23(Sat)

開場時間：9:30～17:00

※ただし土・日・祝日は休館 1/16, 17, 23は、開館。

講演会 12/18(Fri)

ギャラリートーク 01/23(Sat)

立命館大学
アート・リサーチセンター
1階 展示室

無料入場



もっと知りたい!

世界の歌舞伎 展

立命館大学アート・リサーチセンターの所蔵品の内、京都がその発祥地である「歌舞伎」の資料については、日本を代表するコレクションに成長しています。

今回、文学部日本文化情報学専攻、ならびに文学研究科文化情報学専修の学生や教員により、これらの資料を魅力的な文化資源として活用するのを目的として展覧会を企画しました。歌舞伎は、現在も大変人気の高く、生きている演劇です。さまざまな入門書や鑑賞ガイドが巷には溢れています。しかし、この展示では、文化資源である展示品からさまざまな情報を読み解くことで、一般的なガイドでは書かれていない、あまり知られていない歴史の一コマ、一步踏込んだ歌舞伎の世界を提示することを目標としました。

もちろん、アート・リサーチセンターが所蔵する代表的な名品も展示します。舞台鑑賞とはひと味違った歌舞伎ワールドを是非、堪能ください。

2015/12/18(Fri) 18:00～

アート・リサーチセンター 多目的ルーム

講演会『聞いて触れて歌舞伎』

下座音楽の中村壽慶さんをお呼びして、歌舞伎に関するお話、また実際に三味線・笛・鳴物・ツケの演奏を行っていただきます。さらに、楽器に実際に触れることができ、質問コーナーも設けております。

中村 壽慶

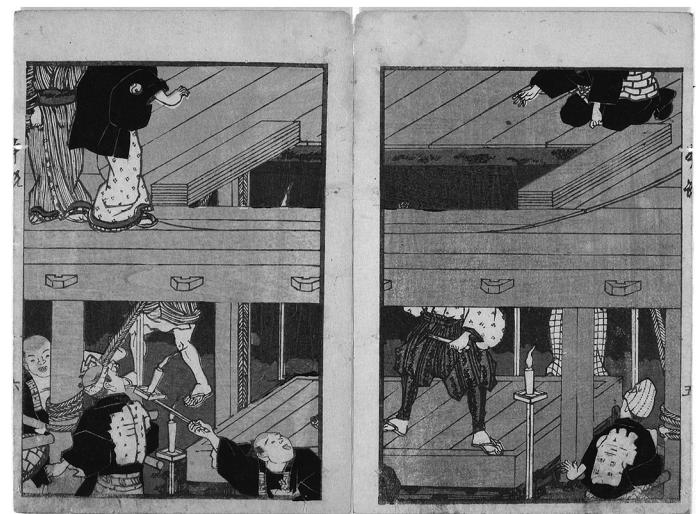
昭和48年初代中村寿慶(現三代目中村寿鶴)の長男として京都に生まれる。幼少の頃より父に手ほどきを受け、故藤舎せい子(五代目藤舎呂船)に師事し寿翔の名を許される。平成12年、壽慶を襲名。歌舞伎、日本舞踊公演を中心に、狂言やクラシック音楽とのコラボレーションを行うなど、積極的な活動を行っている。

2016/01/23(Sat) 16:00～

アート・リサーチセンター 展示室

ギャラリートーク

展覧会のスタッフによるギャラリートークを行います。展示品について、各担当が詳しい解説を行い、深く歌舞伎を知ることができます。



- 1.「御狂言樂屋本説」初編 中本2巻2冊 立命館ARC所蔵 hayBK03-0808
- 2.「守田座普請出来惣渡ノ図」大判/錦絵 立命館ARC所蔵 arcUP5366
- 3.「ゑひしゃこの十 市川団十郎」「三か月おせん 岩井半四郎」大判/錦絵 立命館所蔵 arcUP0509
- 4.「東都名所 芝居町繁栄之図」大判/錦絵 立命館ARC 所蔵 arcUP2734



- JR京都駅より 市バス50号系統『立命館大学前』下車
市バス205号系統『衣笠校前』下車
- 三条京阪駅より 市バス12・15・59号系統『立命館大学前』下車
- 阪急西院駅より 市バス205号系統『衣笠校前』下車

<http://www.arc.ritsumei.ac.jp/lib/vm/kabuki2015/>
立命館大学アート・リサーチセンター事務局
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
arc-jimu@arc.ritsumei.ac.jp